

このまちが大好きです

# 八鹿地区地域まちづくり計画



平成 26 年 3 月

八鹿地区自治協議会

# 目 次

## はじめに

- 1 計画策定の趣旨
  - 2 計画期間
  - 3 将来像とスローガン
  - 4 まちづくりの目標
    - (1) みんなで助け合おう  
子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう
    - (2) 住みよい環境をつくろう  
安全・安心な八鹿のまちをつくろう
    - (3) 賑わいを取り戻そう  
多くの人が交流する八鹿のまちをつくろう
  - 5 まちづくりの基本施策
    - (1) みんなで助け合おう  
子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう
      - ア 健康づくり
      - イ 福祉活動
      - ウ 教育・文化・人権
    - (2) 住みよい環境をつくろう  
安全・安心な八鹿のまちをつくろう
      - ア 交通安全対策
      - イ 防災・防犯対策
      - ウ 環境対策
    - (3) 賑わいを取り戻そう  
多くの人が交流する八鹿のまちをつくろう
      - ア 産業・観光
      - イ 地域づくり
  - 6 まとめ
- <参考資料>
- 1 各行政区別の世帯数、人口、高齢化率等の現状
  - 2 八鹿地区まちづくりアンケートと集計結果
  - 3 まちづくり計画策定の経過
  - 4 まちづくり計画策定委員名簿

## はじめに

八鹿地区は、養父市の北部に位置し、市内の八鹿地域に属しています。地域の中心部を八木川が縦断して流れ、23行政区、1,956世帯、4,835人(平成26年3月31日現在)が居住しています。

八鹿地区には、国道9号及び国道312号が通り、養父市役所本庁舎、公立八鹿病院、養父警察署、県立八鹿高等学校、JR八鹿駅など、主要な行政、教育、文化、医療、金融機関などの施設が立地し、養父市の中心部を構成しています。

しかしながら、世帯数・人口の減少、高齢化及び商店数の大幅な減少など種々の問題が大きく浮かび上がってきています。最近では、大型ショッピングセンター内の一部が閉鎖となり、一段と課題を深刻にしています。

このような状況下のなか2年余の準備期間を経て、平成23年3月に八鹿地区自治協議会が誕生しました。

この協議会は、八鹿のまちを良くするために行政と協働しながら、自分たちができることは自分たちで行うための組織です。そして何をしていくのか目標を明確にし、計画的に実行することが必要です。このために私たち自身が「地域づくり計画」を策定し、市民それぞれが手を携えて活動します。



## 1 計画策定の趣旨

私たちが暮らす八鹿地区は、明治から大正にかけて生糸産業を中心に目覚ましい発展を遂げ、現在の八鹿のまちを形作りました。さらに商業も発展を遂げ、まちなかでは商店街が形成され、「八鹿に行けば何でもある」とまで言われてきました。

昭和30年には八鹿町、高柳村、伊佐村及び宿南村が合併し新八鹿町が発足、その中心的機能を八鹿地区が担ってきました。

しかし、高度経済成長の中で若者の都市部への流出は続き、かつては中心的機能を担ってきた八鹿地区も、少子・高齢化と過疎化が同時に進行する社会へと変わってきました。特に、まちなかの店舗が大幅に減少し、空き家、空き店舗が目立つようになるとともに、学童のいない行政区も出現しています。このような中、いくつもの組織や関係機関で計画書が作成されましたが、状況を改善するには至っていません。

そこで、地域に住む私たちが道筋を定め、「自分たちでできることは、まず自分たちがやってみる」という考え方にに基づき、計画と目標を立てることにしました。

この計画を実行することにより、八鹿地区に住む住民がコミュニティを大切に、お互い支え合い、助け合いながら笑顔と元気あふれる地域づくりを進めていけたらと考えます。そして、誰もが住んでみたい、住んでよかったと思えるまちづくりを進めていきます。

## 2 計画期間

計画期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間とします。

また、この計画は、短期、中期及び長期の3つの期間を設定して取り組むことにします。

短期	3年以内
中期	4～6年以内
長期	7～10年以内

## 3 将来像とスローガン

### 将来像を

「いつまでもみんなが笑顔で暮らせるまち」とします。

将来像を達成するためには、

自分たちができることをまず実践する必要があるため、

### スローガンを

「みんなでつくろう 私たちが住むまちを！」とします。

## 4 まちづくりの目標

- (1) みんなで助け合おう  
子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう
- (2) 住みよい環境をつくろう  
安全・安心な八鹿のまちをつくろう
- (3) 賑わいを取り戻そう  
多くの人が交流する八鹿のまちをつくろう



## 5 まちづくりの基本施策

### (1) みんなで助け合おう

子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう

八鹿地区自治協議会エリアの人口は、4,835人(平成26年3月31日現在)で、そのうち65歳以上の高齢者は1,572人で、高齢化率は32.51%となっています。行政区の中には、48%を超えるところもあり高齢化は益々進んでいます。

アンケートの結果、全ての年代において、医療と福祉そして後継者に対する不安を持つ方が多いことがわかりました。

世代や地区を超えてお互いが助け合いながら

豊かな暮らしができるまちづくりを推進します。



### ア 健康づくり

「自分の健康は、自分で守る。」という意識付けを行い、健康づくりのための支援を行います。

短期計画	八鹿地区大運動会及びグラウンドゴルフ大会等は、継続して実施します。 趣味や生涯スポーツなど、八鹿地区、行政区、グループ等々が参加しやすい種目や組織づくりを行うとともに、多くの活動の場や大会等を開催します。 市民ドックなど定期的な健診の受診率を高めるよう呼びかけます。 健康づくりのための講座を実施します。
中期計画	各種スポーツ、レクリエーションサークルの協力を得て、市民皆スポーツ参加運動(ひとり1スポーツ)に取り組みます。
長期計画	八木川、かんす岩、愛宕山、朝倉城跡などの地域資源を活かしたレクリエーションを創造します。

### イ 福祉活動

高齢者等が安心して暮らせる地域にするため、様々な世代が支え合いながら豊かに暮らしていける住みやすいまちづくりを進めます。

短期計画	「土曜ふれあい喫茶」を継続して行います。 各地区で行う身近な交流活動の実施を促進します。 高齢者等による学童の見守り活動を推進します。 近所同士で声を掛け合い、みんなが安心して生活できる取り組みを進めます。
中期計画	買い物支援や宅配などが必要な場合は、私たちにできる方策を検討していきます。 高齢者や独居老人の安否確認のための見守りシステムを構築します。
長期計画	公会堂など公共施設のバリアフリー化を推進します。

### ウ 教育・文化・人権

少子高齢化と核家族化により、3世代が同居していろいろな知恵を祖父母等から得られた時代から見ると、文化等が継承されにくくなっています。

子どもの健やかな成長には、周りの大人の援助や協力が必要であり、文化的な土壌が必要です。土地の文化や歴史を学び、伝統文化を歴代から引き継いでいくことが地域の発展にも欠かせないことです。

幸い八鹿地区には、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び看護専門学校等の教育施設が充実しているため、連携しながら地域でできる支援は積極的に取り組んでいきます。

そして、地域の伝統行事、文化を保存し、次世代に継承していきます。

短期計画	あいさつ運動を推進します。 公民館と連携し、歴史や文化を学ぶ講座、教室等を開催します。 行事を通じて世代を超えた交流の機会をつくり、地域の伝統文化を継承します。 人権について正しい理解と認識を深めるための啓発に努めます。 立誠舎を歴史や伝統を学び伝える場として、学生等が学びを实践できる場として活用します。
中期計画	八鹿地区の歴史や文化を伝える建造物や行事を調査・活用するため、写真等も含めて展示します。

長期計画	まちづくりの中核的な存在として期待される若者が、お互いに交流し主体的にまちづくりに活動できる話し合いの場を設けます。
------	--

(2) 住みよい環境をつくろう

安全・安心な八鹿のまちをつくろう

ア 交通安全対策

八鹿地区内は、保育園から高等学校、看護専門学校まで教育の場が整っており、多くの児童・学生が通学しています。

安全・安心な通学路の確保は、地域住民誰もが望んでいます。安全・安心な通学路の確保を目指します。市民一人一人が、自分の生まれたまちでいつまでも安心して過ごせるような住みやすいまちづくりを進めます。

短期計画	見守り活動は、今後も継続します。 指導看板など住民で設置可能なものは、関係機関と協議しながら設置します。 通学路を含めた生活道路の実態を調査し、安全・安心な対策を関係機関に要望します。特に、歩道の延長、外側線、グリーンベルト化、融雪装置など安全な通行の確保を関係機関へ要請します。
中・長期計画	市街地内の通行規制については、議論を重ね望ましい方向を見つけ提案します。

イ 防災・防犯対策

防災対策は、養父市防災計画に準じて自分たちにできる対策を進めます。また、犯罪を未然に防止し、誰もが安全に暮らし、安心して生活できる地域を目指します。

短期計画	行政区ごとで、定期的に避難訓練等の防災訓練を行い、避難場所や避難経路の周知を図るとともに、改善が必要な場合は、改善のための取り組みを早期に行います。 緊急避難場所や避難通路の表示を進めます。特に第1次避難場所の明示は、早急に行います。 見守り活動は、防犯にも大きな効果があります。今後も継続し
------	--

	て実施します。 防犯灯や交通安全のために道路照明の設置個所を増やすとともに、LEDへの切り替えを促進します。なお、取り組みを支援するために、自治協議会の助成要綱の改正を行います。 定期的に、八鹿地区が連携して訓練を実施します。
中・長期計画 長期計画	明るい街並みをつくるために、道路に面するショーウィンドウ、門、入口、看板などに灯りをつけ、道路を明るくする取り組みを進めます。 危険な空き家等の対策を検討していきます。

ウ 環境対策

気持ち良く豊かに暮らせ、住み心地の良さを実感できるきれいな環境をつくりまします。

短期計画	花づくり講座や花コンテストを開催します。 円山川、八木川をはじめ河川及び河川敷の環境美化に取り組みます。 ゴミのないきれいなまちづくりを進めます。 県民緑税等を活用し、民家にかかる枝葉を除去するとともに、猪や鹿などの獣害を駆除するなど、安全・安心な環境をつくりまします。
中期計画	花のある美しい景観をつくるため、国・県の助成事業及び地元の農業高等学校など関係機関と連携しながら花一杯運動を展開します。
長期計画	公衆トイレの設置を、通学路ルートでプチ公園整備と併せて検討し行政に要請します。

(3) 賑わいを取り戻そう

多くの人交流する八鹿のまちをつくろう

ア 産業・観光

少子・高齢化が進行する中、養父市全体の活性化を図らなければなりません。特に、養父市の中心地区としての機能を持ち続けるためにも、八鹿地区が中心となって関係機関と連携しながら地域産業の活性化に取り組みます。地域に住む人々が、おもてなしの心を大切にして交流人や観光客を呼び込むための取組を進めます。

短期計画	<p>買い物はできるだけ身近で行います。</p> <p>使用可能な空き家・空き店舗を調査します。</p> <p>八鹿夏まつりの体制を検討するとともに、100年余りの歴史あるイベントを市民とともに盛り上げ継続して行います。</p>
中期計画	<p>歴史的景観等のガイドブックを作成します。</p> <p>空き家、空き店舗の活用を推進します。また、但馬農業高校等と連携して花や農産物等の販売を検討します。</p>
長期計画	<p>旧養父郡酒造、八鹿グンゼ跡地の活用方法を関係機関と協議し八鹿地区の活性化を図ります。</p> <p>まちなかの案内看板や説明看板を作製し、設置します。</p> <p>八鹿の歴史的景観を回るツアーの企画を検討していきます。</p>

## イ 地域づくり

人と人のつながりを大切にし、地域に誇りを持ち、誰もが社会参加できる地域づくりを行います。

短期計画	<p>八木川河川敷を活用した灯ろうフェスタに、付加価値も検討しながら実施していきます。</p> <p>地区の行事等を、他の地区にも紹介する取組を進めます。</p>
中期計画	<p>地域の活動を支援するリーダーを育成します。</p>
長期計画	<p>各地区や団体で行われている伝統行事の調査を行い、それをデータベース化し、保存とその活用を図ります。</p> <p>街並みの保存と活用を図り、景観形成を進めます。</p> <p>地域資源を活用した、コミュニティビジネスの手法を検討していきます。</p>



## 6 まとめ

この計画書は、私たちが取り組むことをまとめた計画が中心になっています。

かつて、八鹿小学校の校長を務められた東井義雄先生は、「自分は自分をつくる責任者」と言われました。素晴らしいと思える八鹿地区をつくるためには、「誰れかが」ではなく「自分自身が」なのです。

まず、自分にできることをやってみよう。まずできることから手掛けてみよう。このことを念頭に置きながら、一つ一つ行動を起こして見ようではありませんか。この計画書は、10年間の計画として策定しています。

この間に人口や産業構造、行財政など社会経済情勢の大きな変化が見られた場合などには、必要に応じて計画全体を見直すこととします。



# 資料編

## 【資料編目次】

- 1 各行政区別の世帯数、人口、高齢化率等の現状
- 2 八鹿地区まちづくりアンケートと集計結果
- 3 まちづくり計画策定の経過

## 1 各行政区別の世帯数、人口、高齢化率等の現状（平成26年3月31日現在）

	行政区名	世帯数 (世帯)	人口(人)	一世帯数当 たりの人口 (人)	65歳以上		備考
					人口 (人)	高齢化率(%)	
1	駅前	42	99	2.36	38	38.38	
2	大森	117	273	2.33	87	31.87	
3	諏訪町	93	242	2.6	85	35.12	
4	下町	45	127	2.82	49	38.58	
5	宮町	24	64	2.67	23	35.94	
6	仲町	32	84	2.63	36	42.86	
7	新町	93	250	2.69	77	30.80	
8	元町	20	61	3.05	17	27.87	
9	旭町	52	131	2.52	41	31.30	
10	栄町	143	405	2.83	141	34.81	
11	一部	74	199	2.69	75	37.69	
12	小山	134	363	2.71	111	30.58	
13	妙見荘	100	100	1.00	100	100.00	
14	朝倉	90	264	2.93	77	29.17	
15	京口	119	270	2.27	101	37.41	
16	天子	185	477	2.58	144	30.19	
17	下網場	149	323	2.17	90	27.86	
18	扇町	71	124	1.75	20	16.13	
19	看護学校	6	6	1.00	0	0.00	
20	上網場	90	190	2.11	61	32.11	
21	舞狂	17	39	2.29	19	48.72	
22	九鹿	153	449	2.93	136	30.29	
23	幸陽	57	161	2.82	19	11.80	
24	岡	21	50	2.38	21	42.00	
25	茶堂団地	29	84	2.90	4	4.76	
	八鹿地区計	1,956	4,835	2.47	1,572	32.51	

## 2 八鹿地区まちづくりアンケートと集計結果

# まちづくりアンケート ご協力ありがとうございました

先月に八鹿地区住民を対象にアンケートを行いましたところ、大勢の方からご回答をいただきました。誠にありがとうございます。

アンケートはまちづくり計画の基礎となります。このアンケートをまちづくり計画に活かしていきたいと考えています。アンケート結果が集計できましたので、一部抜粋ですが報告をさせていただきます。

このアンケート結果に対するご意見を自治協議会事務局にメールかFaxでお寄せ下さい。但し電話でのご意見はご容赦ください。

調査配布世帯	回収枚数	回収率
1,948世帯	927枚	47.6%

### 設問2 回答者の年齢

選択項目	割合
19歳～29歳	0.6%
30歳～49歳	14.9%
50歳～64歳	34.6%
65歳～74歳	25.8%
75歳以上	23.1%
無回答	1.0%

### 設問3 性別

選択項目	割合
男性	47.5%
女性	51.6%
無回答	0.9%

### 設問4 一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか

選択項目	割合
1人	17.8%
2人	32.1%
3人～5人	41.1%
6人以上	7.4%
無回答	1.6%

### 設問5 居住年数

選択項目	割合
5年以内	4.9%
6年～10年	3.7%
11年～20年	7.2%
21年以上	83.6%
無回答	0.6%

### 設問6 暮らしの中で今取り組んでほしいと思うものは(3つまで選択)

選択項目	割合
犯罪や事故の防止対策	9.3%
身近なスーパーや商店の確保	18.8%
地滑りや洪水など自然災害対策	8.6%
猪や鹿、ヒルなどの有害鳥獣虫対策	8.4%
催しやイベントの活発化	2.6%
公共医療機関の医師などの充実	26.6%
公共交通機関の整備と道路の整備	5.7%
福祉サービスの充実	14.3%
講座・教室を開設し生涯教育の充実	2.1%
その他	1.1%
無回答	2.5%

### 設問7 あなた自身や家族が高齢・障害・病気・介護・子育てなどで困った時に、地域でどんなことをしてほしいですか。(3つまで選択)

選択項目	割合
安否の声掛け	23.3%
家の周りの除雪や草取り・ゴミ出し	21.5%
病院・学校などの時の外出の手助け	13.5%
話し相手や相談相手	13.4%
ちょっとした買い物	8.4%
家の掃除や片付け	4.0%
短時間のこどもの預かり	2.6%
食事の世話	5.8%
関わってほしくない	1.3%
その他	1.3%
無回答	4.9%

### 設問9 今後あなたの区や地域の活動に、どのように関わってほしいと思いますか。

選択項目	割合
率先して参加したい	7.7%
活動の内容などの情報がわかれば参加したい	29.7%
一緒に活動する仲間がいれば参加したい	24.2%
趣味や特技などを生かせる活動なら参加したい	14.5%
交通費や日当など若干でも謝礼のようなものがあれば参加したい	2.8%
参加したいが、身体や家庭の事情で参加できない	13.2%
参加したくない	3.1%
その他	1.2%
無回答	3.6%

### 設問14 八鹿地区自治協議会では、八鹿地区の情報の共有と協議会の活動方向を知っていただくことを目的に「ふるさと通信」を毎月発行しています。この「ふるさと通信」を読んだことがありますか。

選択項目	割合
熟読している	14.6%
興味がある記事のところを読んでいる	41.3%
あまり読んでいない	22.7%
読んだことがない	3.5%
見たことがない	12.2%
無回答	5.7%

### 設問8 上記のような困った家族があったとき、あなたにできることは何ですか。(3つまで選択)

選択項目	割合
安否の声掛け	31.5%
家の周りの除雪や草取り・ゴミ出し	15.8%
病院・学校などの時の外出の手助け	8.2%
話し相手や相談相手	15.5%
ちょっとした買い物	16.0%
家の掃除や片付け	3.1%
短時間のこどもの預かり	1.9%
食事の世話	1.3%
したくない	0.9%
その他	1.0%
無回答	4.8%

### 設問10 設問9で「参加したくない」と答えられた方がお答えください。「参加したくない」理由を教えてください。

選択項目	割合
人づきあいがいやだ	21.3%
そのうち役員などをしなくてはならなくなる	19.2%
面倒くさい。わずらわしい	29.8%
私ができなくてもなんとかなる	10.6%
その他	19.1%
無回答	0%

### 設問11 この先あなたが生活する上において不安なことや悪くなると思われることは何ですか。(3つまで選択)

選択項目	割合
身近に商店がなくなり、買い物が不便になる	16.2%
集落の機能が低下し、村の行事ができなくなる	6.7%
後継ぎがいなくなり、身近に、話をしたり、相談できる人がいなくなる	4.8%
医療機関や医師が減って診察や入院がしにくくなる	19.5%
子どもの数が減り、近くに子どもや同級生が少なくなる	4.5%
仕事や雇用の場がなくなる	9.6%
台風や洪水などの自然災害	8.3%
自分や家族の健康・介護	17.0%
交通手段がなくなり、移動がしにくくなる	3.9%
医療、介護、福祉などの利用について制度やサービスが分からない	5.2%
趣味や文化活動ができなくなる	1.1%
その他	0.5%
無回答	3.2%



設問12 八鹿地区を活性化するためには、どのようなことをすべきだと思いますか

- ・ 防災 / 安全 / 環境関係
- 公共交通機関の充実やバス代無料化。小バス、巡回バスの運行【3名】
- 歩道設置、通学路整備【13名】
- 歩いてぶらぶらできる地域をつくる
- 自然の利用、河川の美化、町内の美化、街路樹、公園などの美しい街【11名】
- 一方通行の解除【3名】
- 防火水路の完成
- 医療施設の充実、オンリー1の病院をつくる【31名】
- 街中に気軽に駐車できる場所をつくる
- 歩行者天国の日をつくる
- 312号線と八鹿駅をつなぐ
- 自然エネルギーの利用強化
- 防犯灯をブルー系の色にする
- 九鹿方面の道路整備
- 空地の有効利用(グラウンドゴルフ場など)
- 図書館、児童館・喫茶店をつくる【4名】

- ・ 健康 / 福祉 / 介護関係
- 近所の人との声掛け
- 福祉1番のまちづくり。長寿の街のアピール、長寿の郷を核とした街づくり【3名】
- 元気で明るい高齢者と子どもが接する場をつくる
- 健康づくりをして医療費の削減
- 出生数を増加させる策を考える【5名】
- 地区ごとに独居世帯、障害者等の弱者救済対策マニュアルをつくる
- 精神面の育成
- 送迎付きでふれあい倶楽部の活用
- 保育料を引き下げ等、八鹿以外から来たくくなるような施策を
- 若い世代が活躍してほしい【2名】
- ボランティア活動
- 高齢者の活躍できる場をつくる

- ・ 教育 / 文化 / 人権関係
- 子供から大人まで楽しめる和太鼓を広める
- スポーツ施設をつくり他府県から来てもらう
- 地域ぐるみのふれあいの場を設け人間関係を密に【7名】
- 女性が元気な地区は盛り上がる
- 開放的な図書館の建設、内容を充実させる【12名】
- 愛郷精神を養う教育を行う
- 親子で参加できるイベントを開催
- 若者が集まる場所や参加できる催しを【4名】
- 文化祭や夏まつりなどを他地区と一本化する
- 教室や講座を持ちたい人に施設を貸し出す
- 自分のできることを地道に
- 活性化成功の街づくりを勉強する【4名】
- 八鹿の良いところ悪いところから考える。学習会を【2名】
- 大学を誘致する
- 住民意識を盛り上げる。住民の声を取り入れる【2名】
- まちづくりの委員に高校生も参加してもらう

- ・ 産業 / 観光 / 地域づくり関係
- 雇用の確保【65名】
- 若者や市民が安心して住めるような環境づくり【22名】
- 地区行事へ参加【6名】
- 皆が将来の地域活性化のためになるかどうか考えて
- 地区リーダーの養成
- 市街地マップの作成、地元の観光資源を生かす【5名】
- 街なかにベンチを設置
- Uターンをしたくなるような仕事や環境づくり【5名】
- 八鹿駅及び周辺の開発・美化【5名】
- 企業誘致、大型商店の誘致【47名】
- 若者定住のための対策を【6名】
- 地域住民の交流を活発に【4名】
- 交通の便を良くする
- 車社会に対応できる店づくりや催し
- 何を重点にまちづくりをするか方向を明確にする
- 耕作放棄地の活用【5名】
- イベントを開催する【13名】
- 八鹿をアピールする。「八鹿は割と便利な田舎」をアピールする。広報活動を充実【3名】
- 八鹿ならではの事ものを考える【10名】
- 地元商店の活性化【9名】
- 空家、空き店舗の利用【12名】
- 各地区のイベントを活発に【3名】
- これまでと違う目線で商売をする
- 地域通貨を利用し地元での購買に得点をつける
- 店同士で連携したサービスを行う
- 借地、借家の地主が協力的になること【7名】
- 軽トラ市を行う
- 企業者への補助金を出す
- 市民と行政の連携【3名】
- 市民活動への補助
- 酒蔵見学ができるように
- 河原を整備し、バーベキューなどができるように
- 商店共通のポイントカードを導入、高齢者宅への宅配サービス、共同ちらしの作成【2名】
- 行政と住民が危機意識を持つ
- 特定日や期間限定の店舗をつくる
- 八木川の景観を生かし観光スポットにする
- 駅前開発・活性化【2名】
- 学生の電車待ちの時間に立ち寄れる場をつくる【2名】
- 交流人口を増やす【2名】
- イベントなどのお知らせをふれあい放送する【2名】
- ペアを再生する。ペア食品売り場を継続させる【2名】
- 周辺の街にないようなものをつくる【2名】

- 妙見杉などをPRする
- 誰もが参加できる行事を【5名】
- 道の駅でアピールする
- また来たいと思わせるものや場所をつくる
- 行事等がある際、地区内でもっと声掛けして参加者を募る
- 地元野菜などの朝市の開催
- 定期的にフリーマーケットや青空市など集客できる催しをする
- 他県から人が集まるようなマラソン大会を開催する
- 大型宴会場兼会議場の施設を設置
- 食事ができる場所をつくる(レストラン・食堂など)【8名】
- 地場産業の育成【2名】
- 農業方向に発展するような方法を考える【2名】
- グンゼ空地や事務所を借用し資料館や図書館、公園に【9名】

- ・ 行政関係
- 無駄な公共事業をなくする
- 市議会議員、市職員の給与・定員の見直し【4名】
- 市職員・行政がもっと活発に動くべき【6名】
- 市議会も積極的にせよ【2名】
- バランスシートを健全化し必要なサービスを行う
- 税金を有効に使え【2名】
- 合併する
- 地価価格を適当なものにする
- トップを変えて大きく方向転換すべき

設問13 八鹿地区の活性化のために私たち住民はどのようなことができると思いますか

- ・ 組織づくり関係
- 今現在十分活動している
- 住民と行政が一体化できるような組織【2名】
- 協力体制をとる【4名】
- 子ども会、女性会、老人会を存続させていく

- 住んでいる地区住民が知恵を出し合う集会を持つ【2名】
- 他地区と交流する機会を持つ【2名】
- 町外、市外の人で一時的に八鹿に居住している人の意見を聞く
- 夢を提案する。意見を出し合う【4名】
- 行政区を合併する
- 納得できる計画をつくる
- 地区内で助け合い【6名】
- 目標を具体的に示し協力しやすい体制にする

- ・ 行政関係
- 雇用の場を確保する
- 小バス、巡回バスの運行
- スポーツ施設をつくり他府県から来てもらえるように
- 行政に要請、働きかけをする【4名】
- 納税に協力する【3名】
- サービス付き高齢者住宅をつくる
- 行政に動いてもらう【2名】
- 排他的なところを改める【2名】
- 制度は補助金の創設で人口の増加を見込む
- 住宅地の整備
- 図書館の建設
- 一方通行の解除
- 交通機関の充実
- 施設使用料の軽減

- ・ ボランティア関係
- 挨拶、声掛け、コミュニケーションをとる【26名】
- 各地区でボランティア活動をする【4名】
- 自分の時間を他人のために使う気持ちを持つ【2名】
- 助け合いの精神で【6名】
- ボランティア制度の拡大【2名】
- 参加しやすいボランティア活動にしてい
- ・ 情報発信・PR
- 八鹿の良いところをアピールする
- 地域の特徴や観光資源をアピールする【2名】
- 特産品の開発とPR【2名】
- メディアやパソコンを通じて個人レベルの情報発信

- ・自分の街を知ろう
  - 自分の住んでいる地域を知ること
  - 地域に関心を持つ【6人】
  - 地区ごとにできることを考えてやってみる【3人】
  - 行事等への参加
  - 行事に積極的に参加する【41名】
  - 子供から大人まで一緒に参加できる催しを行う【2名】
  - やる気を出す
  - 何事にも協力する
  - 文句を言わずに協力し金も出す
  - 住民の自治協への参加が当たり前のもという意識を育てる
  - サークル活動を増やす
- ・イベント関係
  - 町民運動会をもっと楽しいものに
  - イベントの企画、準備段階から住民に参加を求める
  - 歌声喫茶を定期的に行う【5名】
  - イベントを開催する5名
  - 楽しんで参加できる行事を【2名】
  - マンネリ化行事の見直し
  - 夏まつりの行事に誰もが気軽に参加できる環境づくり
- ・ふれあい喫茶
  - 男性の行きやすいふれあい喫茶
  - 役に立つふれあい喫茶
- ・福祉 / 高齢者
  - 福祉活動を活発に
  - 健康で長生きする
  - 高齢者も健康で働けるよう健康管理をする
  - 子供に頼ることなく徒歩で行けるような場所に商店、喫茶店などをつくる
  - 老人の集まる場所をつくる【2名】
  - 高齢者も若い人のすることに興味を持つ
  - 高齢者の意識改革【2名】
  - 高齢者でも働ける仕事場の確保
  - 朝礼、体操をする
  - 高齢者が生き生きと暮らす姿を若い人に見せる
  - 弱者救済対策マニュアルづくり
  - 老人クラブ会員にカードを
- ・若者
  - 若い人が元気を出して積極的になる【2名】
  - 若い人がどんどん意見を出す
  - 青年団が活発に活動する
  - 若者が集まれる場所をつくる
  - 農業の後継者を育てる
- ・環境
  - グリーンな町づくりのためのポイ捨て禁止を徹底
  - 町内の美化【8名】
  - 中心部の花街道化

- ・交流 / 先進地
  - 地区や町の活動、人との交流に重点を置き住みよまちづくりをする
  - 世代間の交流
  - 先進地視察で参考にする
- ・見直し
  - できるだけ地元で買い物をする【19名】
  - 個人レベルでできることを無理せずやる【4名】
  - 企業誘致そのために住民も協力すること【7名】
  - 人の役に立つ生活をする
  - 自分自身が幸せになる暮らしをする
  - 自分のこととして考える【3名】
  - 地区づくりをする
  - 自分たちがもう一つできることをする
  - 思いやりの心を持つ
  - 行政に頼らない自立した町
  - 地区全体でできるスポーツや娯楽の実施
- ・観光
  - 特産物、観光スポットの開発
  - 街中に駐車場を【2名】
  - ガイドの養成
- ・子育て
  - 若者が定住し子育てしやすい環境をつくる【8名】
- ・空き店舗
  - グンゼ跡地の利用【3名】
  - 空地空き店舗の提供、活用【6名】
- ・文化の継承 / 施設の利用
  - 先人の作り上げた文化を新しい世代に伝える【2人】
  - 文化活動を活発にする【2人】
  - グラウンドゴルフ場をつくる
  - 今ある施設を活発に活用する
- ・その他
  - 地域のための寄付【2名】
  - 神様をお願いする
  - リーダーの発信
  - 共通のテーマで活動【2名】

### 3 まちづくり計画策定の経過

地域づくり計画は、自治協議会が結成されてから3年以内に策定することが求められています。そのため八鹿地区自治協議会は、平成24年度の総会において計画書策定の方針を決定し、同年10月に策定委員会を立ち上げました。

策定委員には、22区を5ブロックに分け各ブロックからは1名から3名の策定委員を選出しました。

その後、区長が選出されていない区から住民を策定委員に選出してもらい、委員22名により策定作業に入りました。また年度途中で役職が交代になることが予測されましたが、策定委員会案が策定されるまでは現委員で継続することも確認されました。

同年11月には、住民アンケートを実施しました。回収率は、47.6%でした。

委員会は4分科会に分かれ、テーマ別に議論を進め、夏まつりの準備のため一時4月から7月まで作成作業を休みましたが、延べ8回の委員会を開催いたしました。

この間には、養父市役所地域担当チームの皆さんにも参加いただき記録やアドバイスなど協力をしていただきました。

10月の委員会で、ワーキング方式による分科会討議を終了し、討議の結果、策定委員会による協議内容やアンケート調査の結果及び八鹿まちなか再生会議のまとめなどを盛り込んだ原案を事務局が作成し、みんなで議論を深めながら進めていくこととしました。

地域担当チームは検討会を開催し、これまでの議論などを参考にしながら、検討を行い2月に案をまとめました。

この案を素案として、3月に地域づくり計画策定委員会に提案し、検討したものを原案として八鹿地区自治協議会総会に提案しました。

4 八鹿地区自治協議会 まちづくり計画策定委員名簿

NO	ブロック	氏名	区名	備考
1	1	岡本英孝	諏訪町区長	
2	1	植村和好	下町区長	
3	2	有馬信彦	新町区長	
4	2	守本吉伸	栄町区長	自治協議会会計
5	3	才木茂	朝倉区長代理	
6	4	西島政洋	京口区長	
7	4	町田健二	扇町区長	
8	4	長島孝弘	下網場区長	
9	5	河口一男	岡区長	
10	区長推薦委員	谷垣春代	大森区	
11	"	植木健	宮町区	
12	"	高井真弓	仲町区	
13	"	大谷佳津子	旭町区	
14	"	森本俊二	一部区	
15	"	橋本聖子	天子区	
16	"	池田ビルギット	九鹿区	
17	"		幸陽区	
18	自治協三役	小橋忠宏	駅前区長	自治協議会会長
19	"	安原利雄	元町区長	" 副会長
20	"	世登道德	有識者	" 副会長
21	"	朝倉賢一	八鹿小PTA会長	" 副会長
22	"	山根延子	女性会会長	" 副会長
事務局				
		濱田忠司	自治協議会事務局長	
	"	吉谷美也子	自治協議会事務局員	

	氏名	所属	備考
養父市地域担当チーム	濱良賀津	企画政策課	チームリーダー
"	安田徹	上下水道課	サブリーダー
"	才木哲郎	交流・観光課	チーム員
"	高橋純子	高年福祉課	チーム員
"	余根田一明	商工振興課	チーム員